



セブン&アイ、国内小売業初の売上高10兆円突破も米ファンドとの攻防続く | ビジネスパーソンのための占星術



こんにちは、柳川隆洸です。

新月のタイミングに合わせて毎月1回、「ビジネス×占星術」の内容で連載をしています。西洋占星術では1ヶ月の始まりを新月としており、新月の星配置を見ることで1ヶ月の社会的傾向を知ることができます。

まずは先月5月20日の新月から1ヶ月の振り返りをしたいと思います。

前回の記事で、拡大天体の木星が牡牛座に入ったことで、金融関係にまつわることでの社会の大きな変化が起きやすい時期とお伝えしていました。

この記事を書いている6月10日時点では、日経平均は30年ぶりの高値を更新し、またNASDAQなどの米国株も続伸しています。

ただ、6月11日頃から冥王星が逆行を始め山羊座に入ります。

山羊座は経済を意味し、冥王星は根底から覆す影響を発揮することから、株価の続伸もどこかでストップする可能性は引き続き注視しておく必要があるでしょう。

高騰している状態からの反転は6月16日から19日頃がひとつの転換点となる可能性があります。

そんな状況での7月（6月末）新月からの星の影響を見てみましょう。

危機回避能力に重点を

新月は6月18日13時36分です。

これからの1ヶ月は、指導者やリーダーにとっては疑惑を持たれやすい時期であり、そんな指導者に対し反発心が強まる時期になりそうです。

新月のタイミングで、妄想や空想を意味する海王星がリーダーシップを意味する太陽に厳しい配置となります。これまで隠蔽していたことが明るみに出たり、事実とは違う疑惑を持たれ誠実さを問われたり等の影響が出やすくなるのです。また詐欺的な行為が目立ってくる可能性もあります。

これらの影響は6月末までが色濃く出やすいので注視しておいてください。

そして、これまで抑圧されてきた人達からの反発やデモ、ストライキなどの問題も噴出しやすく、時に

はテロや戦争などの暴力的な展開が起きる可能性も懸念されます。

この問題が表面化すると両者一步も引かないような強引さと強情さが目立つはずで、状況が悪化しやすくなります。

この影響は7月中旬頃まで続きますので、他者からの反発があったときに上手く収めるよう、危機回避能力に重点を置くのが賢明でしょう。

また先述の通り冥王星も社会を意味する山羊座に逆行したことから、これまでの経済の方向性が変わる可能性も懸念されます。

税制や金利の見直し、大企業の突然の破綻など予想していなかった事態が起きやすくなります。

このように少々不安定で暴力的な星配置が続く1ヶ月になりそうですし、これらの影響は社会だけでなく私たち個人にも影響がしやすいです。

特に詐欺や暴力的なことからは距離を置くよう意識をし、警戒心を強めに過ごして頂くことをオススメします。また、このような星配置の時は水害に関する天災も起きやすいので、注意しておいてください。

【企業ピックアップ】セブン&アイ・ホールディングス

毎月気になる企業をピックアップし、その企業の占星術的な視点からポイントをお伝えしています。

今回はセブン&アイ・ホールディングス（HD、2005年9月1日設立）をピックアップしました。

セブン&アイ・HDは2023年2月期決算で国内小売業として初めて売上高10兆円を突破しました。その額は11.8兆円に上り、前年度比35%の大幅増加となりました。

この成長の背景には2021年に2.3兆円を投じた米国コンビニ大手スピードウェイの買収など、海外での事業展開が大きく関わっています。

ですが、創業以来の主力事業であるイトーヨーカドーは3期連続で最終赤字に陥っています。

これを受けて、米投資ファンドのバリュート・キャピタルからはイトーヨーカドーなどのスーパーマーケット事業の切り離しと井阪隆一社長ら1部取締役の退任を求める株主提案が出されていましたが、5月末に開かれた定時株主総会で否決されました。

一方、百貨店事業のそごう・西武は別の米投資ファンドへの売却が決まっているものの、2度延期され、迷走状態に陥っています。

そんなセブン&アイ・HDの今後を西洋占星術を使ってチェックしていきたいと思います。

イトーヨーカドーの店舗（東京都昭島市）
革新性を発揮する能力を備える

まずはセブン&アイ・HDの傾向を占星術で見てください。

同社のホロスコープでは、企業の成長力を意味する太陽が乙女座にあり、分析的で合理的な判断によっ

て発展を続ける特徴を持った企業であることが分かります。

その結果、大きな失敗はしづらく信頼感は得やすいのですが、合理的な意見には従ってしまいやすい傾向もあります。

今回、物言う株主であるバリューアクトからの提案は極めて合理的な意見でしたが、それをはね除ける結果を生んだのはリーダーと言うよりは同社の社員からの影響が強かったのではないかと思います。

なぜなら社員を表す月が獅子座にあり、創造的で自身の意見を重視する傾向が強く、権力に屈することは恥と考えやすいので、強い権力で意見を受けたときの反撃力は相当なものになりやすいのです。

また太陽に対して革新を意味する天王星が強く関係しているので同社のオリジナリティーや顧客を驚かせるサービス提供には他社の追随を許さない企画力があるはずで、国内小売業として初めて10兆円を突破した勢いの良さは同社の強い革新性を発揮する能力が生んだ結果といえるでしょう。

もう一点、同社には特徴的な星配置があり、それが金星と木星という幸運な繋がりを持ち、これは企業のブランドや製品に対する好感度の向上、顧客との良好な関係を築きやすい傾向を示しています。

そんな金星・木星に対し、直感力を意味する海王星が強力に援助している形です。

この星配置の結果、同社のブランドイメージは常に顧客に夢を与える影響へと変化しやすく、顧客からの過大評価を得やすい企業でもあると判断できます。

当然このような影響は同社が楽観過ぎる判断を持ちかねない傾向を示唆しているもので、今回のバリューアクトの提言のように、株主が厳しい目でチェックしておくのは重要であろうと感じます。

2027年に変革期を迎える

ではこれからセブン&アイ・HDの今後の流れを見てみようと思います。

まずは2023年ですが、同社の水星に対し天王星が厳しい配置をしており、これにより、誤解や情報の不一致が発生しやすくなりネガティブな印象を与えやすい時期に重なっています。

また突然の技術的な問題や障害が発生したり、インフォメーションやマーケティングに問題が発生しやすい可能性もあるでしょう。

この影響から、現状では結果以上のネガティブな印象を持たれてしまっている可能性は否定できません。

一方で、新しいアイデアや斬新な視点をもたらす可能性も期待できるのがこの星配置です。

これは、企業が革新的な新製品を開発したり、新しいマーケティング戦略を考案したりするきっかけになる可能性を含んでいます。

そして、同社が今後大きく変化が起きそうな時期があるとすれば、2027年から28年頃と占星術では推察できます。

この時期は同社にとって大きな変革の時期に入りますが、新しいビジョンや戦略が提案され、企業の

方向性が大きく変わりそうです。

このような時にリーダーの交代や組織の再構築が起きる可能性も上がるので、仮にイトーヨーカドーを切り離す施策や、経営陣の刷新などがもし実現するのであれば、この辺りの時期に発生する可能性は高いのではないかと思います。

次のステージに飛躍するためには？

いずれにしてもこの時期は同社が柔軟性を持ち、新しい状況に適応する能力が求められますし、この変化をポジティブに受け止め、革新と成長の機会として利用することが、同社にとって最善の道となりなります。

もしこの変化をポジティブに捉えることが出来ない場合、つまり経営陣やリーダーが新しい方策を見つけることが出来なかった場合、これまで隠されていた問題や障害が明らかになり企業としての大きなダメージを受けてしまう可能性にもつながってしまいます。

このようなチャレンジングな星配置を上手くコントロールし、さらなる発展に導くためには、誠実さと忍耐力、そして柔軟性を持つことが強く求められる時期になります。

ですが、この時期を見事に乗り越える事が出来れば、同社はより強固な組織となって、次の高いステージへと飛躍するキッカケになるはずです。

セブン&アイ・HDが今後どのように変革し、より良いサービスを提供する企業へと躍進するのか、今後の展開が楽しみです。※次回公開予定は7月17日です。